全国小学校社会科研究協議会
第61回　研究論文の募集について

研　究　主　題

学習指導要領の具現化を目指す社会科指導の工夫

〈主題設定の理由〉

全小社研では、毎年研究主題を設定して研究論文を募集し、集録にまとめて各関係団体と会員各位にお配りすることにより、社会科授業の改善の道を開拓してまいりました。

平成29年３月に告示されました新学習指導要領では、児童の資質・能力の育成を主眼に置き、具体的に知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性について目標及び各学年の目標が示され、内容については知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関わる内容が示される改訂が行われました。

全小社研では、研究主題を「学習指導要領の具現化をめざす社会科指導の工夫」として現行の学習指導要領の具現化に向けた実践について論文を募り、集録として発行してきました。さらに、令和４年度発行の第58集でも、コロナ禍で制約の多い中ではありましたが、令和２年度から完全実施となった学習指導要領における社会科授業の工夫・改善に向けて、各関係団体の先行的な研究をもとに試行された実践が多数応募されました。

今年度も、研究のさらなる深化・発展を目指します。私たち全小社研として下記の７点について、さらに研究実践を深め、学習指導要領が求める社会科の精神を生かし、児童一人一人に生きる 力を確実に身につけさせるための糧としていきましょう。

会員の皆様が、よりよい実践を積み重ね、多数応募していただくことを期待しております。

1　「思考力」「判断力」「表現力」の育成を目指した研究実践
2　児童に身近な教材を取り上げ、「主体的・対話的で深い学び」を目指した研究実践
3　一人一人の児童に生きる力としての問題解決能力の育成を目指した研究実践
4　児童が社会的事象の見方・考え方を働かせ、課題を追究していく研究実践
5　社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力の育成を目指した研究実践
6　体験的な活動を適切に組み入れ、考えに広がりや深まりをもたせた研究実践
7　学んだことを実社会・実生活に活用し、社会参画を視野に入れた研究実践

〈論文について〉

1．論文字数　Ａ４縦置き　横書き　６枚（執筆要項は、下記６を参照）

2．論文締切　令和８年１月14日(水)必着　**当日消印は有効**

※応募は一人一論文といたします。遅れた場合は次年度応募分とします。

3．応募資格　正会員である団体の長（都道府県小社研会長）が推薦した者
または、準会員（個人会員）

4．応募方法　ハガキまたはメールにて下記要項を記載の上､令和7年12月1日（月）までに申し込んでください。到着をもって応募登録とします。

(1) 副主題　主題の趣旨を生かし研究内容が分かるものとして設定して下さい。
(2) 実践学年
(3) 実践単元
(4) 実践者職・氏名
(5) 勤務校
(6) 勤務校所在地・郵便番号・電話番号・ファクシミリ番号
(7) 「単位団体の長の推薦」または「個人会員」の資格の明記

5．発表　２月末に本人宛に連絡し、入選・佳作論文は研究集録に掲載します。

6．執筆要項

(1) Ａ４　縦置き　横書き（読みやすければ、字数・行数制限はありません。ただし２段組での記述はやめてください。）
(2) ６枚以内厳守　天地左右の余白を必ず２０mm以上とって下さい。
(3) 写真・図表・作品などは鮮明に印刷できるものにして下さい。
(4) そのまま印刷されますので、上質紙にプリントアウトして、２部お送り下さい。
(5) メールでのデータ添付はご遠慮願っています。紙ベースでご提出下さい。
(6) 未発表の論文に限ります。
(7) 企業名・商品名及び個人名等はイニシャルにして下さい。(写真も含む)
(8) 児童・保護者等の写真、資料の掲載については、必ず許可を得て下さい。

7．論文申し込み・問い合わせ先ならびに送付先

〒188-0001　東京都西東京市谷戸町1丁目17-27
西東京市立谷戸第二小学校　校長　小林　資郷
TEL：042-421-5051
FAX:042-421-2400
メールアドレス　motosatokobayashi1968@gmail.com